

## 野田佳彦氏の民主党代表選出について

政治の停滞を打破し、国難に立ち向かうリーダーには誰がふさわしいのかを決める重要な代表選が、政策論争に乏しく、「親小沢」か「脱小沢」という内向きな争点で行われ、国民不在の多数派工作に終始したことは残念という以外にない。

しかしながら代表に選出された野田氏は、「夢、志、人情」を持った国民のための政治が必要であるというスタンスを持っておられ、国民の信頼を取り戻す落ち着きのある安定した政治・政策を貫徹頂ける能力を持った方であると大いに期待している。

大震災の復興対策、エネルギー政策、円高対策、デフレ、外交関係の修復など、国難と言える当面の課題に対しては、有言実行の勇氣あるリーダーとして、党内を纏めるのは勿論のこと、「役所を萎縮させない政治主導」を実現し、党外や官僚などあらゆる人材を活かし、野党との連携も視野に入れながら、日本の国民の生活を守り、且つ経済再生に重点を置いた具体的でぶれない政策を、スピード感を持って打ち出していただきたい。

いずれにせよ、今後も頻繁に首相交代を繰り返すようでは現在の国難を乗り切れるものではない。差し当たり党人事、新内閣の組閣人事を注目したい。野田新代表には長期政権を視野に入れ、増税ありきの財政至上主義に陥ることなく、経済成長と雇用創造に向けた将来を見据えた国や地域のビジョンを明確に示したうえで、粘り強く、信念と気概を持って国家運営を進めていただきたい。

平成23年8月29日

京都商工会議所  
会頭 立石 義雄